



## 中国初の XBB.1.5 検出 新たな流行に？ 専門家が回答

天津市卫生健康委员会 wsjk.tj.gov.cn 2023-02-19 来源：中国新闻网、人民网健康

最近、『国内初の XBB.1.5 型が検出された』ことに関する報道が広範に注目を集めている。これと同時に、ネットユーザーの多くがソーシャルメディアにまた熱が出始めたが、また陽性になるのではと心配していると書き込んでいる。

この点について、北京友安医院呼吸器感染症部門の李侗曾主任医師は 18 日、中国新聞網に対し、中国の免疫バリアーが現段階では比較的強力なため、流行の新たな波が近日中に発生する可能性は低いと語った。またネットユーザーたちの言及する発熱に関しては、いまだ感染していない少数の人々を除き、ほとんどの発熱患者は新型コロナとは何の関係もないと述べた。

### 今後、さらに多地方で発見される可能性は排除しない XBB 系列ウィルス株感染者の出現

本年 2 月 15 日、中国疾病管理センター（以後『CDC』）は、2022 年 12 月以降、全土で流行懸念がある突然変異株 14 例が見つかったが、その中には今回の波における新たな XBB1.5 型（1 例）が含まれていると報告した。

李侗曾主任医師は、中新網に対し、XBB 型は免疫逃避する力がさらに高く、米国等における新発症例に占める比率が徐々に増加しており、将来的により多くの地方で XBB 型系列のウィルス株感染者が出ることは排除できないとした。

しかし、李侗曾主任医師は、現段階では中国における免疫バリアーは比較的強力であり、近日中に新たな波が発生する恐れは低く、散発的症例が主となるだけであり、現在新たに確診された症例はこれまでに感染したことの無い人であり、二度感染するという恐れは非常に低いものだと強調した。

彼は、新たな変異株への感染者は増加しており、人々が二次感染するリスクは高まる。新たな変異株に直面すると、集団の免疫バリア保護時間は短縮されるが、完全に無効というわけではないため、短期間に新たな流行の波が発生する可能性は非常に小さいものだと述べた。

### 最近の発熱患者のほとんどは新型コロナとは無関係

最近のいくつかの発熱症例に関し、李侗曾主任医師は、コロナ陽性になったことの無い少数の人々を除きほとんどの発熱はコロナとは何の関係もないと信じている。『もちろん、過去 3 か月以内に陽性となった人がほかの疾病で発熱し、病院を受診するという可能性は排除できないが、新型コロナとの関連を示すエビデンスはない』と彼は言う。

李侗曾主任医師は、2020 年以後、復陽（再度陽性）になる患者は常に存在しており、2 ～ 3 か月間陽性のままという人もいれば、検査で陰性になった後に再度陽性化した人もいると紹介。彼は、このグループの人々は主に免疫の低下した人々であり、臓器移植後に資陽される免疫抑制剤やエイズによる免疫不全、或いは腫瘍の放射線治療および化学療法を現在受けている免疫不全の人々たちであるとした。

李侗曾主任医師は、「復陽（再度陽性）」と再感染には二つの概念があるという。「復陽（再度陽性）」は、同じ感染だが、一般には感染力はなく、発症することはない。

「再感染と皆さんがいう『重陽』は、同じことを意味するはずですが。つまり、ウィルスへの再感染は、通常、前回の感染とは異なる株または変異株に遭遇して感染することで、再感染のリスクは高くなるのです。」彼は、一般的には 3 か月以内に再び陽性となる人が復陽（再度陽性）になる可能性が高いが、再感染のリスクは極めて小さいという。



believed that those who test positive again within 3 months are more likely to be Fuyang and less likely to be reinfected.

Li TongZeng also said, people who became positive again are basically not contagious and have no virus-related symptoms, but they are only found to be positive for nucleic acid or antigen when they go to the doctor for other conditions.

..... 以下是中国語原文 .....

## 本土首次检出 XBB. 1. 5，新一轮发烧开始？专家回应

天津市卫生健康委员会 wsjk.tj.gov.cn 2023-02-19 来源：中国新闻网、人民网健康

近日，关于“国内首次本土检出 XBB.1.5”的相关报道引起广泛关注。与此同时，多位网友在社交媒体称自己又开始发烧，担心是否复阳。

对此，北京佑安医院呼吸与感染性疾病科主任医师李侗曾 18 日向中新网表示，我国现阶段免疫屏障比较强，近期不太可能暴发新一波疫情。针对网友提到的新一轮发烧现象，他表示，除了少数还没阳过的人感染新冠，大部分发热病例和新冠没有关系。

### 未来不排除更多地方 出现 XBB 系列毒株的感染者

今年 2 月 15 日，中国疾控中心发布通报，2022 年 12 月以来，全国共发现本土重点关注变异株 14 例，其中 1 例 XBB.1.5，为本周期新增变异株病例。

李侗曾向中新网介绍，XBB 免疫逃逸能力更强，在美国等地区的新发病例中占比正逐渐升高，未来不排除更多地方出现 XBB 系列毒株的感染者。

不过，李侗曾强调，我国现阶段免疫屏障比较强，近期不太可能暴发新一波疫情，仍以散发病例为主，目前新增确诊病例主要是还未感染过的人，被完全相同的毒株感染 2 次的可能性非常小。

他表示，新的变异株感染者增加了，人群发生二次感染的风险会增加。面对新的变异株，人群的免疫屏障保护的时间会缩短，但不是完全没有效果，所以短期内再次出现一波疫情的概率很小。

### 近期大部分发热病例和新冠无关

对于最近一些发热病例，李侗曾认为，除了少数是还没阳过的人感染了新冠，大部分发热病例和新冠没有关系。“当然不排除有过去 3 个月阳过的人因为其他疾病导致发热再次就诊的情况，但没有证据显示和新冠病毒有关。”他说。

李侗曾介绍，2020 年起，复阳病例就一直存在，一些人持续两三个月还是阳性，或者曾经检测阴性后再次阳性。他表示，这部分人主要是一些免疫低下人群，多见于器官移植后使用免疫抑制药物，艾滋病免疫低下，或者肿瘤放化疗阶段的免疫下降人群。

李侗曾指出，复阳和再次感染是两个概念。复阳是同一次感染，一般不会有传染性，不会致病。“再次感染和大家说的‘重阳’应该是一个意思，即再次感染病毒，通常和上次感染不是同一个毒株，或者遇到一个变异株后，发生再次感染的风险更高一些。”他表示，一般认为 3 个月内的再次检测阳性者，属于复阳的可能性大，属于再次感染的可能性很小。

李侗曾还表示，复阳的人基本没有传染性，没有病毒相关症状，只是因为其他情况就诊发现核酸阳性或者抗原阳性。